

令和7年度第2号会報発行にあたり
全国の防災エキスパート（高速道路サポーター）会員の皆さま、日々の活動お疲れ様です。また本会報をお読みいただいている皆さま、今後も防災エキスパート活動にご理解とご協力をお願いいたします。

今号は、西日本高速道路(株)浜田文年様にメッセージを頂きました。

本会報を最後までお読みいただき、防災エキスパートについてより理解を深めていただければ幸いです。
(事務局本部)

「つながりで高める防災力」

西日本高速道路(株)本社 保全サービス事業部
危機管理防災担当部長 浜田 文年

防災エキスパート会員並びに関係者の皆様には、日頃より高速道路事業および防災エキスパート活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、我が国では自然災害の激甚化・頻発化が顕著となっております。西日本管内においては、令和5年7月豪雨では大分道の高山トンネル両坑口、令和6年8月台風10号においては大分道の由布岳PAにおいて道路区域外から土砂が流入する等、度重なる豪雨が高速道路に甚大な影響を及ぼしてきました。加えて、冬期の大雪や路面凍結による障害、さらには南海トラフ巨大地震の切迫など、私たちが直面するリスクはますます多様化しています。

本年8月8日から九州や中国地方を中心に発生した大雨では鹿児島県（川薩・始良・霧島）及び熊本県（宇城・八代）で大雨特別警報が発令されるとともに線状降水帯の発生（福岡・佐賀・大分・広島・山口）による、短時間に記録的な激しい雨が続き、当社管理区間においても九州道を中心に雨の基準超過や法面崩壊などによる通行止めが生じ、地域の暮らしや物流に大きな影響を及ぼしました。被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、復旧に尽力された関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

こうした環境において、高速道路が「命の道」としての役割を果たし続けるためには、平時からの備えと初動対応の確実さが不可欠です。その実現に向けては、現役世代の迅速な行動力とともに、長年の経験を積まれた防災エキスパートの皆様の知見が大きな支えとなります。特に、建設期や過去の災害復旧を

知る方々からの技術や経験の伝承は、若手社員にとってかけがえのない学びであり、将来の防災力強化に直結するものです。



一方で、高齢化に伴う現場活動の制約や、被災時の連絡体制・指揮系統をより明確にしていくことなど、今後の活動を持続的に進める上での課題も浮き彫りとなっています。これらに対しては、日頃からの交流や顔の見える関係づくりを通じて、互いに支え合える仕組みを整えていくことが重要だと考えています。現役社員とエキスパートが世代を超えて結び付き、互いに補完し合う関係を築くことが、災害時の迅速で的確な対応につながるものと確信しております。

また、防災活動は有事の支援に限られるものではなく、平時の取り組みの積み重ねによって大きな力を発揮するものです。会議や訓練、現場点検といった日常の活動を通じて、現役社員とエキスパートが課題を共有し、改善を重ねていくことが、いざという時の組織力を高めます。さらに、経験豊富な世代が若手へと知恵を伝え、若手が新しい視点や活力をもたらすことで、活動は継続性と発展性を両立することができます。この循環こそが、防災エキスパート制度の真価であるといえます。

今後も、頻発する豪雨災害や将来の大規模地震を見据え、NEXCOグループ一体となって防災力の更なる強化に取り組んでまいります。会員ならびに関係者の皆様におかれましては、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

北海道支部

活動名	防災訓練
実施日	令和7年9月1日（月）
場所	ネクスコ・エンジニアリング北海道

【内容】

- ・札幌市にて直下型地震（計測震度7）発生。
北海道支部（エンジ北海道）支部本部体制訓練、
EV車両による給電訓練（PC、照明等）
北海道支社からエンジ北海道本社の対策本部へ
防災EXの参集要望を受けたと想定した安否確認及び情報伝達訓練。
- ・12名の一般会員と29名のグループ会員メールによる
安否確認及び参集可否を確認。
- ・同じ会社のは、机上訓練を実施。



東北支部

活動名	防災訓練
実施日	令和7年9月1日（月）
場所	東北支社

【内容】

- ・携帯メールによる防災訓練への参加
- ・大規模地震が発生したことを想定
- ・防災エキスパートへの支援要請を受けて、会員3名へ支援要請の連絡訓練を実施
- ・支援内容および参集について確認を行ったもの

関東支部

活動名	防災訓練
実施日	令和7年9月1日（月）
場所	ネクスコ東日本エンジニアリング

【内容】

NEE防災訓練の中で、メールを活用した派遣要請の情報伝達訓練を実施

【メール内容】

訓練、訓練。
9月1日午前4時00分頃、首都直下地震（最大震度7）が発生しました。
NEXCO関東支社より、多数の被害が確認されている管内において
防災エキスパートの派遣要請を受けました。現地参集の可否
について、報告をお願いします。



関西支部

活動名	出前講座
実施日	令和7年6月6日（金）
場所	NEXCO福知山（高）
【内容】	タイトル「現場管理のトリセツ」

活動名	技術伝承（アーカイブプロジェクト）活動定例会
実施日	令和7年6月6日（金）
場所	茨木技術研修センター（I-T R）
【内容】	①アーカイブ記事、②防災訓練、③出前講座、④記録誌作成、⑤会員アンケート他

中国支部

活動名	防災訓練
実施日	令和7年9月1日（月）
場所	エンジ中国執務室
【内容】	<p>参集などは行わず、登録してあるメールアドレス宛へエンジ中国のメールアドレスより訓練趣旨、安否確認、NEXCOからの参集要請があった場合の可否の回答を求めたもの</p> <p>《実施目的》</p> <p>大規模災害が起きた際、現役社員の安否確認は必ず行われるが防災エキスパート会員への安否確認を行うスキームがないため、平時何も告知を行わない状態でどれだけの会員からスムーズに返信が来るかを防災の日に訓練を行ったもの。</p>

四国支部

活動名	防災訓練
実施日	令和7年7月31日（月）
場所	四国支社 N香川高速事務所

- 【内容】**
台風豆知識、高速道路の減災・縮災に関する勉強会・講師(経験技術の伝承)
- ①台風豆知識の座学
台風の基本知識を図・写真等により、説明
 - ②高速道路の減災・縮災の座学
高速道路の災害事例等を参考に危機管理の基本について、図・写真等により、説明



活動名	防災訓練
実施日	令和7年9月1日（月）
場所	四国支社 N香川高速事務所

- 【内容】**
防災実地訓練（油漏れ発生時の対応訓練）

交通事故等による油漏れ発生時の対応について油処理剤の特徴、使用にあたっての注意事項及び処理方法の対応実地訓練を座学も含め実施した。



活動名	防災講演会
実施日	令和7年6月2日（月）
場所	福岡市立中央市民センター

【内容】

防災エキスパート九州支部の活動及び、NEXCO九州支社並びに九州地区の各G会社若手社員に防災の重要性と諸先輩方が築いた技術を、若手社員に伝承する

- 1 防災先人訓（株）片平新日本技研 技術顧問
- 2 復旧に学ぶ ライト工業（株）顧問



情報共有

防災エキスパート会員数と令和7年度活動実績

各事務局支部の会員数と令和7年度活動実績について情報共有します。各支部におかれましては、今後の活動計画を立案される際に、「防災エキスパート会員専用ページ」や本会報で他支部の活動も確認できますので、参考にして下さい。

防災エキスパート会員数

令和7年10月1日時点

支部名 会員数	北海道	東北	関東	新潟	八東 王京 子・	・名 金古 沢屋	関西	中国	四国	九州	合計
一般会員	8	40	43	9	45	35	64	10	22	43	319
グループ会員	33	19	10	36	31	10	42	18	54	61	314
計	41	59	53	45	76	45	106	28	76	104	633

一般会員：グループ会員以外の会員 / グループ会員：NEXCOグループ会社の会員

令和7年度 防災エキスパート活動状況

令和7年9月時点

項目	令和7年度												備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道						訓	講・支	点	点		調		
東北	点					訓					支・講		
関東	点					訓	講・支		講				基本点検：4月5月 防災訓練：9月 関東支部会議：9月～11月 水戸地域災害連絡会：11月～12月
新潟		点	支・講	講		訓							
東京・八王子	点	点				訓			支・他				他：現場見学会等
名古屋・金沢	他	講				講・訓	支・講			講			他：ETCシステム障害で一宮DKCに自主参集
関西	調・他	調・支・講	調・出・他	調	調・他	訓・調	調・他	調	調・他	調	調・他	調	調：アーカイブ定例会 他：アーカイブ取材、記事寄稿等
中国		訓(参0)		研									支
四国	出		調⇒7月	調⇒8月、防	調	訓	支・講・他						調
九州	調	調	講	出⇒中止	調⇒中止	訓⇒中止 講							支・点
九州													4月予定の点検は、前年度3月に実施済
凡例	【支】支部会議、 【出】出前講座、技術講習会 【点】基本点検(会議等含む) 【研】講演会等の参加、 【災】災害支援、 【ボ】被災地ボランティア活動 【講】講演会(支部主催・共催)、 【訓】防災訓練 【調】連絡調整会議等 【他】その他 実施済み 赤字：会員専用サイトに資料を掲載しております												



被災地ボランティア活動の支援制度

従前より、平常時の活動として防災エキスパート会員の被災地ボランティア活動へ支援を行っていますが、加えて令和3年度より、下記のとおり「防災エキスパート」会員以外の被災地ボランティア活動へ支援も運用しています。

防災意識・スキル向上のための被災地ボランティア活動の支援制度

- 将来の高速道路サポーターとなる高速道路会社社員のあなた、高速道路会社のグループ会社社員のあなたが対象です。
- 旅費交通費・宿泊費等を支援します。

- 【対象者】** 高速道路会社の社員、高速道路会社グループ会社の社員
(防災エキスパート会員の方は支部活動として別途支援しております。)
- 【どういう場所】** 安全が確保されている活動の場であること
例) 活動の場である被災地にて行政・現地福祉事務所や災害ボランティアセンター等が運営するボランティアセンターが設置運営されていてその団体がボランティアを募集していること
- 【活動区分】** 独自で行うもの
支部等が企画したボランティア活動に参加するもの
- 【手続き方法】** ボランティア活動実施に伴う事前手続きについては、高速道路調査会ウェブサイトをご覧ください。
※申込みは、事務局支部が窓口になっております。

災害ボランティア活動

被災地ボランティア活動の支援制度を活用した活動報告

中日本高速道路㈱の方が災害ボランティア活動に参加されました。その活動についてご紹介いたします。

活動名	台風15号災害被災現場
活動場所	静岡県牧之原市・吉田町
参加者	○1名（中日本高速道路株式会社東京支社）

【報告】静岡県台風15号竜巻災害ボランティア活動



2025年9月24日
御殿場(保)



被災から2週間経過した牧之原市&吉田町災害ボランティアセンターでは、複数の竜巻痕が住宅被害や樹木倒木が生活の障害となっていた。今回は、高速道路調査会の防災エキスパート制度を活用し、被災地支援を実施した。水道とガスに被害は少なく、電気は電柱の倒壊等で約3日間停電が発生していた。

- 実施日 令和7年9月16(火)~22日(月) 9時~16時
- 活動場所 牧之原市協災ボランティアセンター
吉田町社協災ボランティアセンター
- 内容 瓦礫の撤去等被災者の支援活動（牧之原市内、榛原郡吉田町神戸）

- 参加者 NEXCO中日本 御殿場HSC 1名
- 活動の流れ:①→②→③→①

最新の活動状況については、下記をご覧ください。



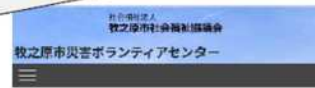
①



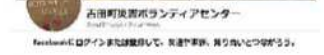
②



③



ボランティア募集（9月）



牧之原市老人福祉センター集合・受付
→各班軽トラ乗車9:00出発

吉田町健康福祉センター「はあとふる」集合・受付
→各班軽トラ乗車9:00出発

被災ニーズと活動内容を確認
→瓦礫等を回収し最終処分場へ運搬

被災地住宅は罹災証明書の発行が始まったばかりで、牧之原市&吉田町はまだ手付かずの状況。突風でなぎ倒された飛来物が主要幹線道路の両脇に積み上げられ概ね車両の通行は確保されていた。現地は猛暑日が連続する中、各ボラセンターでは全国から駆け付けた支援者を受け入れる準備に慌ただしかった。被災者のニーズ掘り起こしと、我々支援者とのマッチングに手間取っている状況。

高速道路の活動に活かせること

今夏は日本全国猛暑に襲われ、線状降水帯の頻発等異常気象に多く見舞われた。高速道路の防災基準を根本から見直す必要に迫られている。高速道路の排水設備は、設計要領(土工編)により地域特性を考慮して設備規模が整備されてきた。現行の用・排水溝設計基準では、降雨確立50年により排水断面は決められている。また、頭上標識設計要領は安全率を考慮しても風速50m/sで倒壊の恐れがある。橋梁耐震基準や建築基準法同様に過去の被害観測値を精査し新たな基準値を制定しなければならない。今回台風15号の竜巻被害は、風速75m/sを超える突風が、住宅屋根瓦等を巻き込んで、飛来物が銃弾のような威力で家屋外壁や窓ガラスに突き刺さり、爪痕を残していた。防衛手段として高速道路の早期通行止めにより、お客さまの一時避難安全は確保できても、早期交通開放するには各構造物の設計強度の見直しと共に、更なる安全対策となる強風補強が求められている。

情報共有

防災エキスパート会員情報更新がWEBでできるようになりました。

会員専用サイトからご自身の登録情報を確認、更新が可能です。
その際会員番号IDが必要になります。ご不明な方は登録支部窓口までお問い合わせください。



求む!

防災エキスパート会員「講演会説明資料」等のご提供に関するお願い

防災エキスパート会員のみなさま、防災エキスパート活動に、ご尽力・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局本部では、これまで皆さま方が講演会等で説明頂いた資料につきまして、幅広く活用したく、NEXCO社員、グループ社員へ、記録として伝承していきたいと考えています。

つきましては、皆さま方が講演等に使用されました資料につきまして、ご提供頂きたいお願い致します。

頂きました資料に関しましては、会員専用ページに掲載し、全国の会員の他、NEXCO・グループ社員に共有し、防災意識の向上に役立てて参ります。

《資料提出先》

東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー10階
高速道路調査会
防災エキスパート事務局本部

E-mail: bousaiex@express-highway.or.jp

編集後記

高速道路調査会事業の1つであるハイウェイテクノフェア2025が10/16、17に東京ビッグサイトで開催されました。

ハイウェイテクノフェアは、平成16年に開始して以来、令和5年で21回目の開催となり、高速道路に関する新技術・新工法、資機材および現場の支援システム、環境技術等を紹介する展示会です。本年も駅から遠い会場にも関わらず沢山の方に来場いただきました。ありがとうございます。防災に関するブースもありました。

また、オンライン展も引き続き11月6日まで開催しております。是非調査会ホームページの特設サイトからご覧ください。

会報を作成するにあたり、今回ご執筆いただいた皆様、ならびに最後までお読みいただいた皆様方にお礼申し上げます。(事務局本部)

(事務局本部)

- ・災害時の支援活動も、平常の活動と交流があればこそ！！
- ・基本点検、防災訓練、意見交換会等の交流活動から！！